

国分寺小学校 朝食を題材とする家族料理教室が行われました

7月29日(火)国分寺小学校の児童・保護者23名が参加し、広瀬市長を迎えて「家族料理教室(上級生対象)」が実施されました。親子で朝食を作り、「朝食の大切さ」を体験的に学ぶ県教育委員会健康福祉課の主催事業です。国分寺中学校の栄養教諭 吉葉裕子先生から、「朝食の重要性」の講話を聞き、紹介された下野市産の食材によるメニューは「牛肉のあまから焼き」「かんぴょうとアスパラのごま酢あえ」など5品。おそろおそろ包丁を持つ子どもたちと、親子で楽しく料理をしました。「難しそうだったけどやってみたら簡単だった。」「親と一緒に作る機会がなかったのでとても楽しかった。」という子ども達の感想や「かんぴょうの料理方法がいろいろあり、勉強になりました。」「オーブンを使って短時間で料理が作れるのは忙しい時間に助かります。」「いつもは偏食の娘がもりもり3杯もご飯を食べていたのは驚きました。やはり、自分で作るとおいしいですね。」など保護者からの感想もあり、おいしく楽しい料理教室となりました。



農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版

この農地・水・環境保全向上対策は、農用地や水路、農道などを維持管理する活動の他に、農村環境向上活動として生態系保全や景観形成など地域の環境を良くする活動も実施します。どんな活動に取り組むかは、各活動組織で話し合い決定しますが、生態系保全活動のうち「生物の生息状況の把握」いわゆる「生きもの調査」については、豊かな農村環境を子ども達に引き継いでいくため、地域の環境を見つめなおしながら、環境保全活動の足がかりとするために、栃木県内の全活動組織(371組織)で取り組むことになっています。

下野市では、6月から7月にかけて4活動組織が小学校、自治会、育成会の方の協力を得て、有意義な調査を実施することができました。参加した子ども達は、田んぼやまわりの小水路、川に入って網で取れた、たくさんの魚に歓声をあげ、大人の方も改めて地域に生息する生きものの種類の多さに驚きながら、世代を超えた楽しい交流がもてました。今後もこのような活動を通し、地域に対する「まなざし」を育む活動を展開していきますので、参加ご協力をよろしく願います。



6/27 柴地区環境保全会



7/21 石橋南部環境保全会



7/27 笹原地域環境保全会



7/28 仁良川の里保全会